

(1)【第1号報告】スポーツ推進事業の進捗について

【事務局】

(配付資料により説明。説明概要は以下のとおり)

長崎市ではスポーツ基本法に則り、市民がスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことを目指し、市民が日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会を確保するため、「する・みる・支えるスポーツの振興」の視点から事業を実施することにより、スポーツ・レクリエーションの振興を図ることとしている。

「する」スポーツの振興については、「スポーツをする機会の提供」として、はじめようスポーツ体験教室や市民スポーツ・レクリエーション祭、長崎平和ハーフマラソンなどの各種スポーツ大会を開催している。

また、「スポーツをする場所の提供」として、市営体育施設の貸出、また、学校体育施設の開放等を行っている。

次に、「みる」スポーツの振興については、「プロスポーツ招待事業」として、令和7年度は、V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカのホームゲームへの招待事業を拡大して実施し、市民の応援気運の醸成を図るとともに、「みる」スポーツを通じた、スポーツへの関心を高めるきっかけにつながっている。

なお、V・ファーレン長崎と長崎ヴェルカの招待事業は令和7年度で終了し、ラグビーリーグワンの三菱重工相模原ダイナボアーズについては、昨年11月に連携協定を締結し、今後も市民にラグビーの応援機運醸成のため、招待事業を継続することとしている。

次に、「支える」スポーツの振興については、「競技力の向上」として、選手の強化やジュニア層の育成のために、各競技団体が実施する強化事業等に補助を行っている。

【委員】

長崎新春駅伝の記載があるが同日に長崎市レクリエーション協議会主催で新春ウォークを実施しているため、資料にも記載してほしい。

【事務局】

同日に長崎市レクリエーション協議会主催で長崎新春ウォークを実施しているため、今後は掲載する。

【会長】

スポーツ競技は文化と違い勝ち負けが出てくる。長崎のチームが中学総合体育大会の県大会でどのような結果だったのか、このような場所で資料を出してほしい。

長崎市のチームが県大会で上位に行って欲しい。委員の方にも刺激になると考える。

【事務局】

中学総合体育大会については、学校体育の分野になり、教育委員会の所管になる。県の中学総合体育大会の成績表については、審議会の最後にでも資料を提出したい。

【会長】

委員の皆様にも長崎市の中学総合体育大会の状況を知って欲しいという考えもあるため、お願いしたい。

【委員】

三菱重工相模原ダイナボアーズとの連携協定については、協定を締結していただき感謝したい。4月4日には、三菱重工相模原ダイナボアーズ VS 静岡ブルーレヴズの試合が長崎市であるため、長崎市にもご協力をお願いしたい。

【委員】

支えるスポーツには補助事業だけでなく、各種スポーツイベントのボランティアスタッフも含まれると思う。今後はスタッフの人数の推移を把握することで、長崎市にどれだけの支える人がいるのか見えてくると考える。

【事務局】

するスポーツに記載している各種イベントは、多くの人に協力していただき成り立っている。特にマラソンは、400人以上の一般のボランティアが必要となる。その方々は支えるスポーツに含まれると考えるので、その辺りの数字も出していききたいと思う。

【委員】

長崎ベイサイドマラソンについて、令和9年以降は隔年開催を検討している記載されているが、その経緯をお聞きしたい。

【事務局】

令和8年度の予算編成を実施するにあたって、本市の厳しい財政状況の中、市役所全体の事業をゼロベースで見直しを行った。その結果、ベイサイドマラソンの隔年開催を検討することになっている。毎年楽しみに参加される方もいるが、マラソンは公道を使用するため、大会当日のスタッフも市の職員を300人以上動員しており、市の負担が大きいということもある。他のイベントに比べての費用対効果なども考慮した結果でもある。

来月にベイサイドマラソン実行委員会が開催されるため、そこでも隔年開催が適切かどうか検討していくことになる。

【事務局】

補足で説明すると、毎年4,000名程度の参加者がおり、それだけの市民が楽しみにされているイベントではあるが、市の負担金は2,000万円、市職員の動員は300人以上と、1日のイベントに対して、かなりの金銭的・人的な負担が生じている。

ただ一方で、ハーフマラソンについては、長崎県内で離島を除くとベイサイドマラソンが唯一のハーフマラソンとなっている。事業が継続できるように、人的・金銭的負担軽減のため、協賛金の収入増や、参加料の値上げを検討し、何とか隔年開催で事業を継続していきたいと考えている。

【委員】

長崎新春駅伝について、今年は降雪のため途中で中止になった。前年は降雪だったが最後まで実施した。雪が多い時期でもあり、参加者にも移動中など危険が伴うため、開催時期や会場、中止の判断のタイミングも含め、何か手立てはないか。

【事務局】

2年連続で降雪の影響があった。判断は難しく、去年は最後まで実施し、今年は途中で中止と判断した。判断に至った理由は、今年は走路に雪が積もり走れる状況ではなかったため中止にした。

新春駅伝は、元日に実施していた経緯もあり、現在は1月の第2日曜日あたりで実施している。

雪の影響については、過去に1度だけ最初から中止にしたことがある。他は中止になることは無かったため、今後も同時期で開催したいと考えている。

中止の判断については、天気予報を注視するなどして、早めに行いたいと思う。

【委員】

天候に左右されるため、新春ウォークについても主催者側は大変だった。今年は途中でゴール地点を変更して対応した。天候はどうにもならないため、主催者側の意見を集約して判断しないといけないと感じた。

【委員】

長崎市スポーツ表彰者の件数の増加は、数年で2.5倍まで増えて凄いことだと思う。ジュニア選手の強化について、具体的にどのような強化策があったのかをお聞きしたい。

【事務局】

スポーツ協会に補助金をだし、スポーツ協会から各種団体に交付している。具体的には、選抜チームの合同練習や、著名な方を呼んでの講習会、遠征などを行っている。詳細な説明は難しいが、各競技団体で工夫して実施してもらっている。

(2)【第2号報告】長崎市スポーツ振興計画について

【事務局】

(配付資料により説明。説明概要は以下のとおり)

スポーツ推進計画は、スポーツ基本法第10条第1項に定める国のスポーツ基本計画を参酌し、地方の実情に即したスポーツ振興に関する計画を定めるよう努めるものと規定されている。

長崎市においては、計画前年に開催された長崎がんばらんば国体の成果と課題を踏まえつつ、計画の最終年度に開催される2020年東京オリンピック・パラリンピックに繋げるため、国のスポーツ基本計画(第1期計画期間:平成24年度~平成28年度)との整合を図りながら、長崎市の現状に即した「長崎市スポーツ推進計画(以下「推進計画」)という。」を平成27年5月に策定し、スポーツ施策の実施に取り組んできた。

当該推進計画については、令和3年3月をもって計画期間が終了しているが、当時、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ推進審議会の開催が難しく、次期計画の策定を見合わせてきた。

そのような中、国においては地方スポーツ推進計画の策定及び改定に当たっては、地方公共団体の事務負担を軽減するため、必ずしも単独の地方スポーツ推進計画である必要はなく、総合計画等においてスポーツ行政を位置付けることも可能であること等がスポーツ庁より通知がなされた。

本市の第五次総合計画においては、まちづくりの方針Gにおいて、「スポーツ・レクリエーションの振興を図ります」を基本施策に掲げ、「スポーツ・レクリエーションをする場と機会の充実を図ります」と「スポーツをみる機会の創出と競技者の支援を図ります」を個別施策として掲げている状況であり、この方針は、本市スポーツ推進計画の基本理念である「する・みる・支えるスポーツの振興」と同じ考え方である。

また、総合計画実施計画の取組み方針において、スポーツ推進計画の基本方針が網羅されている。

このようなことから、これまでの国の取扱いや本市の総合計画の状況を踏まえ、個別のスポーツ推進計画は策定せず、総合計画（まちづくりの方針 G3）においてスポーツ行政を位置づけ、スポーツの振興を図っていくこととする。

特に意見無し。

（3）その他

【事務局】

市民総合プールの建替えについて

松山町に長崎南北幹線道路が整備されることに伴い、市民総合プールを含めた平和公園の複数のスポーツ施設が再配置となる。

再配置の概要としては、まず、長崎スタジアムシティ横の中部下水処理場跡に市営陸上競技場の400メートルトラックを移転させ、次いで市営陸上競技場の場所に新たな市民総合プールと広場を整備し、その後、現市営総合プールを解体し、跡地に多目的広場を整備する予定としている。

イメージ図の建物や屋外プールの外観は、現在のものを当てはめている。

長崎平和ハーフマラソンについて

大会参加者数や取組内容、平和の発信について、主なものを参考として資料添付。

【委員】

かきどまり総合運動公園のラグビーサッカー場の造成地へ移設との記載があるが、どういうことかお聞きしたい。

【事務局】

現在の松山にあるラグビーサッカー場は、そのままである。

かきどまり陸上競技場の運動広場にある芝生のグラウンドがクレーとなり、ソフトボールで4面とれるようになり、別の場所に造成工事を行い、芝生の球技場が出来ることになる。

【委員】

場所はどのあたりになるのか。

【事務局】

現在の芝側の奥に広がるというイメージ。

【委員】

松山町のラグビーサッカー場について、人工芝が痛んでいたり、電光掲示板が使えない状態である。この移転のときに改修するという計画はないのか。

【事務局】

移転とは直接関係ないため別の部署にはなるが、修繕が必要な箇所は優先順位をつけて取り組んでいる状況である。令和8年度の予算では照明の修繕を対応すると聞いている。

【委員】

何か事故が起きてからでは遅いので、よろしくお願ひしたい。

【会長】

選手のことを考えるとグラウンドの整備が先ではないか。

【委員】

参考資料についている体育施設について、空調の設置状況についてお聞きしたい。

小中学校の体育館は屋内競技で使用されていると思うが、他の体育施設についても、熱中症対策として空調を設置する考えはないか。

【事務局】

現在、市営の体育館で空調が設置されているのは、市民体育館のみとなっている。これは観客数が1,000人を超えるとすることを考慮して整備されている。

体育施設利用における熱中症の対応としては、熱中症警戒アラートが発生した場合は、熱中症アラート発生に伴う当日キャンセルの場合でも、利用料金を取らないようにしている。

熱中症対策は各自で行ってもらっている状況であり、現時点では市営の体育施設全部に空調を設置する予定はない。

【委員】

指定避難所となっている体育館はどこか。

【事務局】

体育施設では深堀体育館のみとなっている。

【委員】

深堀体育館については、令和8年度当初予算の空調の整備計画に入っているのか。

【事務局】

令和8年度当初予算の空調の整備計画は、小中学校のみである。

【委員】

今後も気温は高くなっていくと考えられる。建物更新のタイミングもあるが、ずっと使用する体育館であれば、今後の在り方についても、検討して欲しい。

【事務局】

スポーツ振興の観点で空調が整備されていた方が良いが、市営全部の体育館に設置することは出来ないため、まずは子どもの学びの場である小中学校の体育館、その中の優先順位として避難所の指定を受けている体育館に整備すると決断した。深堀体育館については、避難所の側面もあるため今後検討したい。スポーツのみの視点だけでは、現段階で空調の設置は難しいと考えている。

【委員】

かきどまり総合運動公園の運動広場の造成について、駐車場は整備されるのか。
現状でも足りないので、造成したらパンクするため、考えないといけないと思う。トラブルも発生している。

【事務局】

まだそこまでは決まっていない状況である。

【会長】

他に意見がなければ、全ての議事を終了する。

(中学校総合体育大会の県大会について、成績表の資料を配布して終了。)